

夏の時期に起こりやすい火災原因のご紹介

夏のレジャー（花火、バーベキュー）や、お盆の行事（ろうそく、線香）、そして電子機器の取り扱いなど、夏季特有の火災リスクを6つのカテゴリーで解説します。火の取り扱いや製品の放置が重大な事故につながるため、各項目での注意が必要です。

レジャーと屋外作業での注意



花火による火災に注意

水バケツを用意し、説明書の注意事項を守って大人と一緒に遊びましょう。

バーベキューや調理時の火災に注意

火をつけたまま離れず、使用後の木炭は完全に消火してから捨てましょう。



草刈り後の枯れ草の焼却に注意

枯れ草の焼却は火災に繋がりがやすいため、適切な処理と監視が必要です。



お盆の行事と身の回りの火災



ろうそく・線香（自宅・墓地）の残り火に注意

火をつけたまま離れず、墓地での残り火も完全に消えたか確認しましょう。

着衣着火への警戒

ろうそくや調理の火が衣服に燃え移らないよう、十分な距離を保ちましょう。



リチウムイオン電池の火災に注意

炎天下の車内に放置せず、異常を感じたら中止し、不燃ごみに出さないでください。